



NPO PTPL “ともいき” 便り No.160

平成 30 年（2018 年）12 月 7 日発行

■大雪（だいせつ） 平成 30 年 12 月 7 日から 12 月 21 日までの節気

「大雪」の節気です。12 月に入り、一年のたつのは早いもので、今年もあと 1 か月を切りました。今年の夏は異常な暑さにはホトホト参りましたが、それも今は記憶の彼方、寒さが少しずつ厳しくなる昨今、むしろあの暑さが懐かしく感じられる今日この頃です。

12 月は和風月名でいうところの「師走」です。

今はなかなか和風月名で 12 か月を言う方は少なくなりましたが、なぜか「師走」はよくつかわれるようです。

「師走」の意味を改めて調べてみると、師走の師は僧のことで(12 月は僧を迎えて、経を読んでもらう風があったので師がはせ走る「師馳月(しはせづき)」であり、これが略された)、この月になると僧もあちこちと“せわしく”走り回るところから出た言葉だと俗に言われている説と、師は伊勢の御師(おんし)と呼ばれる下級神職のことで、この人たちが歳末に伊勢神宮の札を全国に配り歩いたところから出た言葉という説もあって、こちらの方が歳末のならわしを感じさせる言葉として季節感を濃く含んでいるように思われます。

ちなみに、12 月の別称はほかにもいくつかあるのでご紹介します。

極月(ごくげつ)・厳月(げんげつ)・親子月(おやこづき)・春待月(はるまちづき)・梅初月(うめはつづき)・暮歳(ぼさい)・暮節(ぼせつ)などなど、まだまだほかにもあります。ひと月をいろいろな表現ができる日本人の感性を今を生きる私たちも、持ちたいものですね。

詳しくは「ともいき暦」をご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2018/>

「大雪」の節気の中の年中行事にはどんなものがあるのでしょうか。

12 月 8 日の「針供養」。年に 2 回あり、もう 1 回は 2 月 8 日です。今は、もう

針仕事をする方が本当に少なくなり、この行事も忘れ去られがちです。しかし、婦人病の回復や安産祈願に霊験があるとされ、女性のための神様として古くから信仰を集めてきたようです。この日に安産祈願を行うとご利益があるのでしょうか。いろいろな理由付けを行い、神社に参詣し、心を落ち着かせる機会が増えることはいいことだと思います。

12月12日の「漢字の日」。毎年、清水寺「奥の院」舞台で貫主が、今年の世相を表す「今年の漢字一字」を発表しますが、今年はどんな漢字が選ばれるでしょうか、楽しみです。

12月15日（土）から16日（日）の2日間、「東京世田谷ボロ市」が開催されます。ボロ市の始まりは、世田谷の代官(大場盛長)が領内の住民たちが無事正月を越せるようにと、物々交換の市を立てさせたのに由来するといわれます。大変古い市で400年以上も続いています。不要の物を売って越年資金を捻出するという趣旨で始められたもので、ボロ市の名もこれに由来します。

記録によれば、ボロ市に並べられたものは古布・古下駄・古道具の類であったようです。

現在では日用品・衣料品・植木・雑貨など約1000店以上も露店が並び大賑わいを見せています。（この市は年2回開催されます。もう1回は1月15日から16日。）

最後は、12月17日（月）から19日（水）の3日間開催される「羽子板市」です。羽子板市は年末恒例の風物詩となっており、市で大きい羽子板が売れると、「お手を拝借」の掛け声も勇ましく、「シャン、シャン、シャン」と手締めが行われます。

羽子板の歴史は古く、江戸時代の貞享年間(1683～1687年)の頃、江戸浅草観音の歳の市に見られたといわれています。

(羽子板の起源は「邪気を跳ね返す板」として、女の子の成長を願う習慣があったといえます。)

年末に向け、正月準備など何かと忙しい時季であり、寒さが一段と厳しくなる時期でもあります。皆さん、くれぐれも風邪などひかぬようご自愛ください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

「神嘗祭」「新嘗祭」「大嘗祭」について簡単に説明しましょう。

来年の御代替わりを控え、秋篠宮殿下のご発言などもあり、最近、新聞・テレビのニュースで取り上げられている「神嘗祭（かんなめさい）」「新嘗祭（にいなめさい）」「大嘗祭（だいじょうさい）」について簡単にご紹介しましょう。

●「神嘗祭（かんなめさい）」は年間 1500 回に及ぶ伊勢神宮の恒例のお祭りの中でも、最も重要なお祭りです。

天皇陛下が、その年の新穀を伊勢神宮に奉納する祭り。養老5（721）年に始まり、10月17日を恒例としていましたが、明治12年（1879）からこの日に改められました。

●新嘗祭（にいなめさい）は天皇陛下が即位後初めて新穀を皇祖及び天神地祇に供え、これを食する祭儀です。明治5年までは旧暦11月の2回目の卯の日に行われていましたが、明治6年から太陽暦が導入され、そのままでは新嘗祭が翌年1月になるという不都合が生じるため、新暦11月の2回目の卯の日に行うこととし、明治6年ではそれが11月23日でした。翌明治7年には前年と同じ11月23日に行われ、以降11月23日に固定して行われるようになりました。現在は「勤労感謝の日」として国民の祝日になっています。

●大嘗祭（だいじょうさい）は天皇のご即位後、初めて行われる新嘗祭を大嘗祭と特別に呼びます。天皇一世一度の宮中で行われる最大の祭りです。

（ご退位が7月以前なら年内に、8月以降なら翌年の新嘗祭の日に行うことが平安時代に定められました。）

お分かりになりましたか？

日本という国、数々の伝統や文化が古くから現在まで、そして未来にまでつながっているのです。興味深い国ですね！！（来年の天皇ご譲位と共に年号も変わります。）

来年の大嘗祭、少しでもテレビで中継してくれるとよいのですが・・・。

※「あなたの知らないワンダーランド、日本」

「日本の歴史を学びましょう。」そして、日本と世界とのつながりを学びましょう。

そして、今後、どのような国、日本を造ればよいのか？どのような世界になればよいのかも、しっかりと考えましょう！！

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●先日、明治神宮外苑で開催されている恒例の「いちよう祭り」に出かけました。今年のいちようの葉は台風の影響で少なく、また小さいということでしたが、夕方以降は、ライトアップが行われていて、照明に照らされた木々が幻想的に浮かび上がり、多くの見物客の目を楽しませていました。(12月2日に終了しています。)

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動 (ジャパネスク運動) を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp